

海外で困る健康問題

- 現地の詳しい医療情報が得にくい
- 国や地域によっては検査や治療に限界がある
- 出された薬が何かよくわからないことがある
- 国によっては医療費が高額
- 状態によっては緊急搬送の可能性も
- 外国語で症状を伝えたり医師の説明を理解するのが難しい
- 通院や入院が本来の学業に対する影響
- 本人の不安、家族・周囲の人たちが心配が大きい



出発前に時間が不足し、
必要なワクチンの接種が
終わりそうにない

現地で下痢と頭痛で受診
して出てきた薬がなんだ
かよくわからない

個室に入院となり、受診
の際の請求書が高額で
びっくり

滞在していた寮で感染症
が流行し、隔離されてし
まった

帰国時に体調不良で入院と
なり、就活のスケジュール
が崩れてしまった

現地の友人宅の
犬に噛まれてし
まった

帰国後、家族や友人に感染
症をうつしてしまった

裏面へ



チェックリスト

- 渡航地 (どこに行くの? 周辺国にも出かける?)
- 渡航期間 (短期? 長期滞在? 雨季? 乾季?)
- 予防 (ワクチンや薬等で予防できるものの対策は?)
- 滞在環境 (ホテル? ホームステイ? 寮? テント?)
- 想定リスク (主な活動は勉強? 仕事? フィールド調査? 周囲は自然豊か?)
- 健康状態 (もともと病気ある? 飲んでいる薬は? 虫歯はない?)

現地の情報は検疫のホームページで確認

FORTH

検索

渡航前のワクチン接種相談ができる医療機関を探す

予防接種実施機関

検索

準備をしよう!

- 健康状態の確認 (英文健康診断書の作成)
 - 虫歯の治療
 - メンタルヘルス
- 現地の情報確認 (生活・医療・疾病・文化)
- 感染症の予防 (ワクチン・予防内服)
- 海外旅行保険加入
- 携帯医薬品
- 家庭医学書 ※アプリなどもあります



注意点!

- 予防対策は受け入れ先の国・地域や大学が要求する書類によって異なるので確認
- 接種歴は記憶ではなく記録 (母子健康手帳等の書類) で接種日や接種回数を確認
- 接種歴や既往歴が不明な項目は、抗体検査や再接種を検討
- 未承認ワクチン (髄膜炎菌・Tdap : 追加用三種混合ワクチン等) は、留学や駐在前の対応になれている施設で相談を

予防に勝る
治療なし



作成: 国立国際医療研究センター 国際感染症センター
トラベルクリニック 直通 03-3202-1012
ホームページ <http://www.travelclinic-ncgm.jp>

ワクチンの「学生価格」を希望の方は、母子手帳だけでなく学生証もご持参ください。

